

王寺南幼稚園「防災紙芝居」開催報告

- 1 日 時：平成 23 年 12 月 2 日（金） 10：00～10：40
- 2 場 所：奈良県北葛城郡王寺町 王寺南幼稚園
- 3 講 師：河田のどか（NPO法人さくらネット）
那須琢矢（佛教大学大学院<通信>2年）
（陪席）NPO法人都市災害に備える技術者の会 伊藤東洋雄、柏田勝幸
- 4 対象者：王寺南幼稚園園児 53名
園長（1人） 職員（6人）
- 5 催しの内容
 - 1) 自己紹介
 - 2) 地震の写真を見てみよう！ 津波の写真を見てみよう！
阪神淡路大震災の家屋倒壊の写真と、東日本大震災の津波到来の写真を見せ、
災害の解説、被害の説明などを実施
 - 3) 紙芝居
 - ・題 名：『おおきなじしん と おおきなつなみ』
 - ・内容：8分 紙芝居の絵をプロジェクターを使ってスクリーンに映写
あらすじ：仲良しの兄妹、子ブタのぶーたん と とんとん。二匹が住む
村では昔大きな地震と津波がありました。おばあさんはぶーたん と とんと
んに、地震や津波の被害の様子、災害時の行動で大切なことを、いつも伝
えていました。そんなある日、村を大きな地震が襲います。おばあさんに
教えてもらったとおりに、自分の身を守り、高台へ逃げる際は周りに避難
を呼びかけ続けたぶーたん と とんとん。二匹の行動が村の人々の避難を後
押しし、津波がくる前に避難が完了。村のみんなの命が助かりました。津
波で村はめちゃくちゃになりましたが、助かった命を喜び、みんなでもっ
とステキな村をつくること、教訓を伝え続けることを約束しました。
紙芝居の目的：地震の身の守り方、津波前の避難行動について知ってもら
う
体験や教訓を語り継ぐこと(勉強すること)が、次の災害で
もみんなの命を守ることにつながることを知ってもら
う
地震から命を守るために大切なこと：頭を守る、机の下に隠れる
津波から命を守るために大切なこと：早く高いところへ逃げる
大きな声で知らせながら逃げる
 - 4) 地震の写真を見てみよう！ 津波の写真を見てみよう！
とは違う写真を見せながら、紙芝居を掘り起こして災害について説明
 - 5) ×クイズ：紙芝居終了後園児に紙芝居のふりかえりも踏まえて、答えを
×でこたえてもらう
 1. 地震が起きた時は、頭を守る。
(しっかり頭を守ろうね！)
 2. 地震がいつ起きるかわかっている。 ×

(地震はいつ起きるかわからないよ！)

3. ぶーたんととんとんに地震と津波のことを教えてくれたのは、ねこである。 ×

(ぶーたんととんとんに教えてくれたのは、おばあさんだよ！)

4. 津波は新幹線よりも速いスピードでくる。

(津波は新幹線よりも速いよ！)

5. 津波がくる前に、ゆっくり歩いて逃げる。 ×

(できるだけ早く、高い所へ逃げようね！)

6. 地震や津波のことを勉強することは、大切である。

(地震や津波のことを覚えておいてね！)

7. 王寺南幼稚園で12月に避難訓練がある。

(しっかり訓練をしてね！)

6) 歌とダンス

歌：『地震だ だんだん』 作詞：瀧本浩一 作曲：一井康二

『一から始める地震に強い園づくり』

幼稚園・保育園のための災害対策・防災教育ハンドブックより

1. あつとつぜんやってきた　　じめんがゆらゆらびっくりだ
じしんだじしんだ　　どうしよう　　そーだそーだあわてるな
つくえのしたでだんごむし　　みんなでがまんのだんごむし
だーんだだんだーんだだん　　じしんだだんだだん
2. あつとつぜんやってきた　　うみでゆらゆらびっくりだ
つなみがつなみが　　やってくる　　そーだそーだにげるんだ
たかいとこまでかけっこだ　　うみからとおくへはしったよ
だーんだだんだーんだだん　　つなみだだんだだん
3. あつとつぜんやってきた　　いえじゅうゆらゆらびっくりだ
ひがでるひがでる　　かじになる　　そーだそーだあわてるな
おとなのひとにしらせたよ　　まわりのひとにしらせたよ
だーんだだんだーんだだん　　かじだよだんだだん
だーんだだんだーんだだん　　じしんだだんだだん

7) プレゼント：園児全員に「ぶーたんのメダル」(紙製)をプレゼントする。

裏には・今日はありがとう。地震が起きたら、頭を守ってね。

・今日はありがとう。地震のときは、だんご虫のポーズで頭を守ってね。

・今日はありがとう。地震と津波のことをしっかり覚えておいてね。

などのメッセージが書かれている。

6 防災紙芝居実施状況：



熱心にお話を聴く園児達



紙芝居の始まり始まりー



地震が起これば机の下へ！！



クイズに答える園児達



防災ダンスを踊る園児達



お姉さんと一緒にダンスを踊ろう



だんご虫のポーズ



お土産のメダル

7 感想

3歳から5歳の幼稚園児に地震のお話がどの程度理解してもらえるか、効果はどうかと当初心配していたが、園児達は私語もなく熱心にお姉さん・お兄さんのお話に聞き入っていた。

また、紙芝居の中で話した防災についての大切な事をクイズで確認したが、殆どの園児が正解であった。紙芝居中に良く聴いていた証であり、家に帰っても親御さんに紙芝居の話をしたり、また、本人たちの頭の片隅に少しは残っていて、いざの時役に立つのではないかという期待を持った。

最後に行った防災に関する簡単なダンスも音楽にあわせて楽しそうに踊っていた。

(伊藤記)

感想

幼稚園で防災訓練を月に1回実施することで、園児たちは災害発生時の対応や、座布団で身を守ることなどをしっかり理解しているように見えた。訓練や指導を何度も積み重ねることが、災害時に命を守ることにつながることを改めて感じた。紙芝居やクイズを用いて、地震のときになぜ身を守ることが大切なのか、部屋はどのようになるのかなどの「危険」や、海水浴などに行っている時に災害が起きる可能性もあり、「災害はいつ起きるかわからない」ことを伝えることで、災害の様子などを確認し、防災の大切さを感じてもらえたのではないかと思う。

プレゼントに配ったメダルを家に持ち帰ることで、家族で防災教室の内容や防災について話すきっかけになることを期待したい。

(河田記)